

東能勢中だより

有ゆう(徳不孤必有隣)隣りん



平成22年(2010年)5月号 No. 181

薫風の5月です。やっと5月らしい気候になってきました。連休はどのように過ごされたでしょうか。緊張の4月が過ぎ、学年ごとの最初の取り組みがおこなわれました。

1年生：神戸方面への校外学習：震災の後をたどり、身の回りを見直していこう。

各班で、学習の報告会をおこないました。

神戸港のクルージング、ポートタワーを見学、そして「人と防災未来センター」で調べ学習をしてきました。

2年生：篠山市内でのフィールドワーク：来年の修学旅行のための事前学習の意味もあります。

班行動の実績を確認しながら、クラス作りや学年作りをおこないました。

今年度は宿泊学習でなく、日帰りでの校外学習、アスレチック・班別市内散策をおこないました。市内散策では、班ごとの目標タイムの設定もあり、ゲーム感覚での興味ある取り組みになったようです。

3年生：修学旅行(長崎・佐世保方面)：2泊3日、大阪を離れて、集団での宿泊行事でした。

最終学年として、これから1年間の取り組みの出発としての行事でした。

3学年とも、天候にも恵まれ、3年生はきわどい場面もありましたが、本降りの雨にも会わず、全日程をおこないました。



朝の読書の時間の継続

：「みんなで読もう、毎日読もう、好きな本を読もう、集中して読もう。」読書の習慣化は、生徒の成長にとってもプラスになります。自分以外の考えに接し、少しずつですが生き方に、変化が出てくると思います。

家庭学習の充実のお願い

：家庭での学習の時間の確保。集中して学習すること。1年生は1時間、2年生は2時間、3年生は3時間。3年生は、クラブなどとの両立を迫られますが、1年通してやり遂げてほしいと思います。各教科の学習をまんべんなく復習していく態度が、やがて大きな結果をもたらすと思います。

中間テスト

1年生にとっては、初めてのテストでした。入学から一月。毎日、いろいろな教科を、いろいろな先生に習う中学校の学習方式に慣れましたか。定期テストは、その学習の成果(できているところとまだ自分のモノにしていけないところ)を自分で問うものです。点数にのみこだわらず、できなかったことは何なのかを、調べて復習をしていってください。復習することで、次の学習に必ずプラスになります。

体育館耐震化工事

学校の耐震化に伴い、体育館の改修工事がおこなわれます。工事に伴う様々な要因から、工事が夏休みに入ってからになり、大掛かりな工事になる模様で、工事期間が9月に入る可能性が出てきました。クラブの練習や、文化祭・体育祭などに支障のないようにと町のほうにお願いしています。ただ、一定の手続きがありますので、工事の期間などの情報をもらいながら、いちばんよい方法を考えていきます。その都度、保護者の皆さまには情報をお知らせしていきます。

教育実習が始まる

5月31日より、本年度の教育実習生の受け入れが始まります。今年度は、国語・社会・英語の教科での実習になります。

保護者の皆さまにお願い

協力し認め合う家族に

子どもたちは家事を手伝ってくれますか。共働き家庭が多くなっている現在、子どもたちも家事の手伝いをしていくのはとても大事だと思います。私も小学校や中学校の時は、家でしなければならぬ仕事がありました。小学校の時は朝には、玄関の掃除が主でした。中学校に入ってから、帰ってから風呂焚き等まだ、まきや石炭で風呂をたいていましたから、水汲みから風呂焚きまで、私の仕事でした。妹たちは食事の用意などできる範囲で母親や父親の家での仕事の一端を手伝ったものです。そんな風にして、家族が助け合っていました。ただ、仕事の自身はその年齢の子どもができる範囲でしたし、子どもには勉強の時間も自由な時間も必要ですから、それを妨げるようなものではありませんでした。また、手伝いが終わると必ず両親から「ありがとう」の言葉をもらいました。ごく自然に。この言葉聞いて、子どもは子どもなりに、家庭での自分の位置を確かめ満足したものです。

お手伝いなどしてもらっていないという家庭もあると聞く半面、自分でお弁当を入れてきているという生徒の存在も聞きます。やはり家庭を作っているのは家族全員なのだから、子どもも何らかの手伝いをするのは必要でしょう。生徒のみなさんは、家の仕事、できることを日常的にしたらどうでしょうか。「適当に、できることから、少しずつ。」